

知っておきたい肺がんのこと

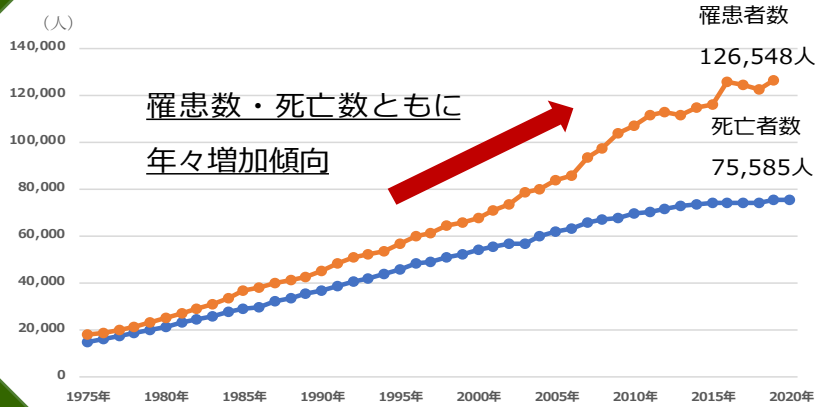


編集・発行 野村病院 予防医学センター

現在、日本人の**2人に1人**が生涯で**がん**になる（2018年データ）と言われており、がんは全ての人にとって身近な病気です。そこで今回から「がんシリーズ」として、各がんの特徴や検診方法等についてお伝えしていきます。

現状

日本人のがん死亡数**第1位**は肺がんです



死亡者数：人口動態統計死亡データ 罹患者数：全国がん登録罹患データから作成

なぜ死亡数が多い？

「この症状があれば必ず肺がん」という症状がなく無症状のまま進行することが多いです。そのため、発見されたときには治療が困難なケースが多く、他の臓器にも転移しやすいため死亡数が多いです。

検査方法

※40歳以上の方は**1年に1回**の検診が推奨されています。

野村病院予防医学センターで受けられる検査

胸部 X線検査

胸部全体に背後から X線を照射します。肺がんの疑い、肺炎、肺結核、肺気腫、胸水、気胸など呼吸器疾患の有無などが分かります。

胸部 CT検査

体の周囲をらせん状に X線撮影を行います。胸部 X線検査では観察が困難だった部位の病変や微細な病変を発見します。重喫煙者※の方にお勧めします。

喀痰細胞診検査

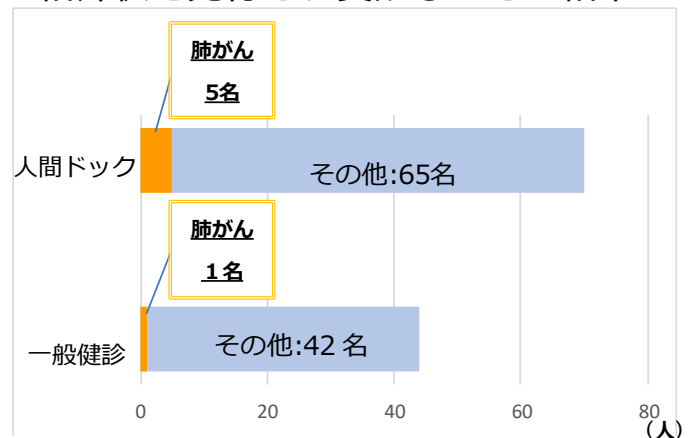
3日間採取した痰を診断します。見つかりにくい肺門型肺がん等を発見します。50歳以上の重喫煙者※の方にお勧めします。

※重喫煙者：喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方

当センターでの
がん発見数

2020年度に当センターの人間ドック・一般健診で胸部 X線検査を受け、紹介状発行となった方のうち
人間ドック：5名の方に肺がんが発見され、
一般健診：1名の方に肺がんが発見されました。
胸部 XP検査・胸部 CT検査で精密検査受診を勧められたら**速やかに**受診し早期発見・早期治療に繋がしましょう。

<紹介状を発行され受診した方の結果>



※2022.7時点で当センターにて結果を把握できた方のデータをもとに作成

最後に

前述の通り、肺がんは他のがんと比較し死亡数が多いです。検診で紹介状が発行となったら、自覚する症状がなくても、恐れず医療機関を受診しましょう。基本的なことではありますが、行動に移すことが死亡数低下に繋がります。

ヘルスアップサポートでは健康に関する情報発信中です。過去掲載分には**禁煙に関する情報**もあります。興味がある方は是非一度ご覧になってみて下さい。

